

労働災害防止のための

研修会を開催

ACTIVE KUMIAI

甲斐市一般廃棄物協同組合(堀内満喜子理事長)は4月8日(火)に従業員の労働災害防止を目的とした研修会を開催した。

当組合は、甲斐市から許可を受けて一般廃棄物の収集運搬等を行っている事業者により組織されており、収集運搬業務を適正に実施するために必要な知識及び技術を習得することを目的に様々なテーマで研修会等を定期的に開催している。

今回の研修会は、「労働災害防止のためのKY活動」をテーマに開催され、経営者を含む15名が参加した。

研修の講師を務めた特定社会保険労務士の加藤里美先生からは、労働災害を防ぐためには「災害が起こったときの心理分析」「労働災害の防止」「安全性の確保」などを重視することの他に、危険予知活動(KY活動)といった具体的な活動方法を定めることが重要であるとの説明があり、研修後半には実際の職場でKY活動をとり入れるための実習をグループで行った。

KY活動は、①現状把握(どんな危険がひそんでいるか)②本質追究(危険のポイントや問題点の原因について検討し問題を整理する。)③対策樹立(あなたならどうする)④目標設定(私たちはこうする)といった4つの要素で構成され、特に手慣れた業務を行う上で見逃しがちな「何か危険は潜んでいないか」といったことを各自に考えさせる習慣を持たせることが期待できる。

グループワークでは積極的な意見交換がされた

実習終了後、堀内理事長は「労働災害が起こらないように各社の就労環境にあわせて防止における具体的な対策を行い、行政からお客さんからも信頼される企業になって欲しい」と述べ、研修会を締めくくった。



労災防止に必要な考え方について研修が行われた